



## ★日本の神話 『倭健命』

埼玉県神社庁では、日本の神話を多くの方々に知っていただくよう、毎年、神話カレンダーを作成しています。今年も昨年に続き『倭健命』です。  
「吾妻はや（私の妻よ）」  
倭健命は、東国を平定し、自分のために命をかけて走水の海に沈



んだ弟橘比売を慕いながらも東国に別れを告げました。そして、東国に向かう時に結婚の約束をしていた美夜受比売と結ばれました。今年のカレンダーでは、伊吹山の神の怒りによる苦難や、能煩野での最後、白鳥となって飛翔するお話と続きます。  
※社務所にて頒布しています。ただし、部数に限りがございますのでご了承ください。

## 三芳町川越いも振興会

### 天皇杯受賞！

昨年十一月二十三日、明治神宮会館で第五十四回農林水産祭が開催され、三芳町川越いも振興会（伊東蔵衛会長）が天皇杯を受賞しました。三三〇年前から続く平地林の落ち葉を堆肥にすき込む循環型の

農法を継承し、一方で、いも焼酎やアイスクリームなどの6次産業化に取り組む攻めの都市農業が高く評価され、むらづくり部門で受賞したものです。心から祝い申し上げます。  
当社では、川越いも作り始めの祖、吉田弥右衛門（所沢市南永井）、甘藷先生（青木昆陽）の二柱の神様を甘藷之神としてお祭りしています。二柱の神様の恩頼（神様からいただく恩徳、ご加護）に報恩感謝申し上げます。元日、二日は無病息災の焼き芋頒布を行っています。



# 富の神明さま

発行所  
三富富岡総鎮守  
神明社  
社報第11号  
〒359-0002  
所沢市中富1507  
社務所電話  
04-2943-1709  
宮司宅電話  
049-259-2228

## 新年のご挨拶

三富富岡総鎮守

神明社

平成二十八年の新春を迎へ、謹んで新年の御祝詞を申し上げます。

天皇・皇后両陛下におかれましては、おすこやかに新春をお迎えになられましたこと、慶賀の至りに存じ上げます。

氏子崇敬会の皆様方におかれましては、ご健勝にて新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

神宮においては、昨年三月、別宮における遷宮諸祭

もすべて恙無く斎行され、国民総奉賛による第六十二回式年遷宮は無事に完了致しました。そして、これは新たな出発点であることも心に留め、千三百年の永きにわたる伝統をさらに次代へ継承してまいりたいと思っております。  
また、本年は伊勢志摩サミットの開催が予定されています。この機に日本の文化の神髄ともいえる神道が広く理解され、神宮や神社への関心が昂ることを期待しています。  
神明の無辺のご加護をいただき、氏子崇敬者の皆様にとつて、本年が幸多き年になりますことを心よりお祈り申し上げます。





総代会会長  
本田 五郎

新年明けましておめでとございます。  
氏子並びに崇敬会の皆様には、

健やかに新しい年をお迎えいただいたものとお慶び申し上げます。

皆様方には日頃より神明社繁栄のためご尽力を賜り心より御礼申し上げます。

昨年は、昭和九十年、戦後七十年という節目の年でした。振り返ってみますと、茨城県常総市での鬼怒川の決壊など自然災害の多い年でした。犠牲になられた方々に哀悼の意を捧げるとともに一日も早い復興を願ってやみません。  
今年は、天皇陛下のフィリピン訪

問や伊勢志摩サミットの開催も予定されています。天皇陛下の御心をいただき、世界の平和と神道精神や日本文化の理解が一層広がる年となることを祈っています。

神社神道には、「敬神生活の綱領」があり、私たちはその綱領をいただき日々の生活を送っています。三つの綱領を紹介させていただきます。

一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、明き清きまことの心をもって祭祀にいそむこと。

二、世のため人のために奉仕し神のみこともちとして世を創り固めなすこと。

三、大御心をいただき、むつび和らぎ国の隆昌と世界の共存共栄とを祈ること。

新しき年を迎え今年こそは何事もない平穏で平和な暮らしができ

るよう神明社氏子総代会一同、神社発展のため皆様と共に尽力してまいりますので皆様方のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



宝登山神社にて

平成二十七年総代会研修旅行

## 秩父長瀬宝登山神社参拝

恒例の神明社氏子総代研修旅行は二月十六日実施されました。今年、秩父長瀬宝登山神社を正式参拝させていただきました。

午前九時、当地を出発し、関越自動車道、一般道を経由し目的地宝登山神社に到着しました。この日は好天に恵まれ、車窓より秩父連山の美しい景色を眺めることができました。

宝登山神社の創建は、西暦一一〇年、第十二代景行天皇の御代と伝えられ、平成二十二年に鎮座一九〇〇年という由緒のある神社です。

御祭神は、神日本磐余彦尊（かみやまといわれひこのみこと）我が国をお肇（はじめ）になられた

神武天皇。大山祇神（おおやまづみのかみ）山の御神霊 無限の山の幸を恵み給う。火産靈神（ほむすびのかみ）火の御神霊 無限の火の幸を恵み給う。三柱をお祀りしています。

御神徳は、火災盗難よけ・諸難よけの守護神としての御神徳が高く、地元はもとより関東一円からの参拝者は、年間一〇〇万余を数えます。毎日祈願祭がとり行われ、家内安全、商売繁盛、火防盗賊よけ、交通安全、金運招福などご祈願を受け付けています。

現在の御社殿は、江戸時代末から明治初頭に造り替えられた本殿、幣殿、拝殿より成る権現造り（こんげんづくり）です。欄間には、

「二十四孝」を始め多くの彫刻が施されています。

社殿にて正式参拝を行い、参拝後は、宝登山の榊梅散策。榊づくりのような芸術的な花を觀賞した後、旅館「長生館」にて直会を兼ねた昼食をいただきました。荒川の川面と石畳が一望できる部屋で、ご神酒をいただき、カラオケも盛り上がり、時の経つのも忘れ、楽しいひと時を過ごし、無事帰路の途に就きました。

今回の研修視察には、婦人部の皆さんにもご参加いただきました。宝登山神社では、当社の宮司が、かつて初任神職研修の講師もしており、そうした縁から暖かいおもてなしを受けました。料亭角家さんにもご協力をいただき、関係者の皆様方に心から感謝申し上げます。